

## 提案依頼事項

提案書は、基本仕様書に示す業務の内容すべてを簡潔且つ具体的にA4版10ページ以内（表紙や目次、下記4の費用見積書を含めない。）で作成すること。

その際、下記1～3の評価項目の順にまとめ、基本仕様書を上回る機能や実施体制があれば、アピールできるよう記載すること。

## 1 実施方針等

## (1) 本事業を実施する上での基本方針

- 児童生徒の学習効果向上に資する内容  
本市が学習支援システムを導入しようとしている目的を踏まえ、児童生徒の学習効果向上をどのように実現することとしているか。
- ICTを活用した授業づくりに係る教職員研修等の支援  
児童生徒用端末等のICTを活用した授業づくりについて、教職員研修等の支援をどのように実施できるか。

## 2 GIGAスクール構想の実現に向けた学習支援システム

## (1) 操作性等に係る工夫

操作メニュー、ボタン配置や表示上の工夫、操作性、視認性など、児童生徒の視点に立った使いやすさを、システム開発の意図や目的などとともにその効果について記載する。

- 操作メニュー、ボタン配置や表示上の工夫  
操作メニューのタブやボタンの配置、大きさ、マーク、言葉等が、どのように使いやすく工夫されているか。
- 操作性  
児童生徒や教員が、文字や図形などの各種メディアや他のソフトウェアで作成したデータ等を使いやすくするための工夫があるか。
- 視認性  
児童生徒や教員が、授業や学習評価等を行う際の画面表示内容等において、視認性を高めるような工夫があるか。

## (2) 本市採択教科書への対応や収録教材等

- 本市採択教科書への対応  
本市が採択する教科書に対応した内容とすることができるか。
- 収録教材  
児童生徒の学習効果向上や、教員の教材研究、授業準備等を充実させることができるような教材が収録されているか。

## (3) 個別・協働・一斉の各学習場面の充実に係る工夫

- 個人思考等の充実  
児童生徒が、個人で考える、発表資料をまとめるといった活動を行いやすくするための工夫があるか。
- 過去の学習内容の振り返り  
児童生徒が、必要に応じてその場で過去の学習内容を振り返ることができ、かつ、速やかに行うための工夫があるか。
- 協働学習の充実  
児童生徒が、個人の考えを基にしたグループ学習を行うにあたって、お互いの考えを確認する、他者の考えに対して気付きを伝えるといった活動を行いやすくするための工夫があるか。
- 児童生徒の考えに基づく一斉学習の充実  
児童生徒全員の考えに基づいて、個々が思考をさらに深めることができる一斉学習場面にするための工夫があるか。
- 教員による学習状況の把握  
児童生徒の学習状況をリアルタイムに把握するための工夫があるか。
- 教員による支援のしやすさ  
教員が、児童生徒の学習状況に応じて、個々に支援しやすくするための工夫があるか。

## (4) デジタルドリル

- 個々の学習状況・習熟度に応じた学習  
児童生徒が、個々の学習状況・習熟度に応じて学習するための工夫があるか。

- より個に応じた学習  
上級学年の問題に挑戦する、下級学年の問題を振り返るなど、児童生徒が、より個に応じた学習を行うための工夫があるか。
- 学習意欲の喚起  
児童生徒が、進んで学習に取り組もうとする意欲を喚起するための工夫があるか。
- 収録問題  
基礎的・基本的な知識等の習得だけでなく、習得した知識等を活用して思考・判断・表現する能力の育成もねらえるような問題が収録され、かつ、その問題数は充実したものであるか。
- 自動採点機能  
児童生徒が解答後、即時自動で採点されるものであるか。
- 教員による学習状況の把握  
児童生徒のデジタルドリルの取組状況や習熟度について、教員が把握することができるか。
- 教員による支援のしやすさ  
教員が、児童生徒の学習状況に応じて、個々に支援しやすくするための工夫があるか。

#### (5) 運用面等

- システム利用のためのアカウント  
本提案による各種ツール及びデジタルドリルについて、児童生徒は1つのアカウントで利用することができるか。また、そのアカウントは、本市が教員及び児童生徒に配付している G Suite for Education の Google アカウントを利用することができるか。
- システム利用のための作業  
システム利用者の登録等、システム利用開始にあたって学校で行う必要がある作業内容はどのようなものがあるか。また、それは容易にできるものか。
- システムの利用環境  
ブラウザによる Web 上でのログイン・利用の可否、アプリケーションをインストールする必要性の有無、利用環境はどのようになるか。
- 人事異動時の対応  
年度替わりまたは年度途中の人事異動があった際、簡便な方法で対応できるか。
- 有事の際の学習保障  
学校が臨時休業になる、児童生徒が出席できなくなるといった、有事の際の学習保障として本システムを利用することができるか。また、その際に各家庭にある端末等を使用して簡単に利用することができるか（OS やブラウザの制約の有無等）。

### 3 実施体制等

#### (1) 実施体制の妥当性

- サポートデスクや研修等の支援体制や対応  
サポートデスクの開設時間や連絡方法等、研修の内容や方法等はどうか。
- セキュリティ対策、障害発生に係る問題への対応  
セキュリティ対策、障害や事故発生時の対応が迅速なものとなるよう体制を整えているか。

#### (2) 導入実績

都道府県あるいは政令指定都市での導入実績、私立学校等に導入した実績を記載する。

### 4 費用見積書

#### (1) 導入年度の費用

初期費用、システム利用料、サポート費用等の内訳、総額

#### (2) 次年度以降の費用

全校展開した場合（小学校 141 校、中学校 63 校、中等教育学校 1 校、特別支援学校 1 校、合計児童生徒数：約 10 万人）の総額

### 5 その他

提案書及び費用見積書中には、社名・担当者名など、提案者が特定できるような内容は一切記載しないこと。